

## 携帯型録音機を使用したリマスタリング(11)

### —USB ケーブルを替えた場合—

#### 1. 始めに

一連のインフラノイズの機器を通してデジタルファイルを作成するリマスタリング実験を実施しています。この過程で、インフラノイズの USB ケーブルやデジタルケーブルを使用すると、純正律と平均律の識別が容易になることが分かりました。今回、USB ケーブルをこれまでの USB-W4 や Wireworld Ultraviolet に替えて、一部の PC オーディオマニアに支持者が多いベルキンの USB ケーブルを使用して再生し、USB-W4 との比較を行いました。

#### 2. 音源

1)「ピュアースケールミュージックによる理想的ストレス解消」(純正律音楽研究所刊)の付属 CD からリッピングあるいはリマスタリングしたもの(前報(4)参照)を使用しました。

① モーツァルト：ピアノソナタ K.331 第一楽章(平均律/Equal Temperament、ET と省略)

②□モーツァルト：ピアノソナタ K.331 第一楽章(純正律/Pure Scale, PS と省略)

③ シューベルト：子守歌(平均律/Equal Temperament、ET と省略)

④ シューベルト：子守歌(純正律/Pure Scale, PS と省略)

2) 176KHz の高音質 Digital Music File の Jazz 音源 2 曲およびこれらをリマスタリングしたもの(前報(10)参照)を使用しました。

#### 3. 再生ルート

インフラノイズのケーブルを使用した下記を基準とします。

SSD→PC→【USB-W4】→USB101 (ABS-7777)→CRV-555 (ABS-7777)→【新ケーブル】→DAC-1→RMS-1000→DR-100 (SDHC)

これに対し、USB ケーブルのみをベルキン製 50cm ケーブルに替えた下記のルートで再生して比較してみた。

SSD→PC→【ベルキン】→USB101 (ABS-7777)→CRV-555 (ABS-7777)→【新ケーブル】→DAC-1→RMS-1000→DR-100 (SDHC)

WAV ファイルは PC の SSD メモリーから読み出し、VUPlayer で再生しました。

#### 4. 評価結果

音源1) の①と②、③と④のペアをベルキンのケーブルで聴くと USB-W4 よりペア間の違いが分かりにくく、全体に音が濁ったように感じます。

音源2) では、ベルキンのケーブルでは同様に音の透明度や立ち上がりの鋭さが低下します。また、USB-W4 ではっきり分かったリマスタリング A (インフラノイズのケーブル使用) とリマスタリング B (Wireworld とベルデンのケーブル使用) の違いが分かりにくくなり、リマスタリング A の透明度や立ち上がりの特徴が消え失せてしまったように聴こえました。

## 5. まとめ

USB-W4 に対しベルキンのケーブルは音律の違いが出にくく、音の透明度が低下します。このような特徴はクラシックには向かないように思われますが、Jazz では、音の濁りのようなものが、ある種の迫力のようなものとなって感じられるのかもしれない。

以上